

# 顧客要求の妥当性に関する議論を記録するためのモデルの提案

日本電子計算株式会社

田中 淳一

junichi\_tanaka@cm.jip.co.jp

## 開発における問題点

システム開発に当たって、曖昧な要求から具体的な設計に落とし込むことが設計者に求められる。要求の実現について議論が共有化されない、実現方法を決定する過程が残っていないため、意図が分からなくなる、などの問題が発生することが多々ある。

## 手法・ツールの適用による解決

提示された要求項目について開発者による解釈の議論を促し、議論の内容をリアルタイムに記録するためのモデルについて考察を行い、問題点について解決の一助とする。

## モデルのポイント

- ・要求項目について、さまざま観点から、開発者による解釈と議論が記録できる
- ・要求項目について、解釈のみでなく、疑問や曖昧な点についての議論もできる
- ・議論を迷わずに記録でき、どの部分に相当する意見であるか容易に分かる
- ・1つのコメントに複数の意見を混在させず、シンプルな意見として記録できる

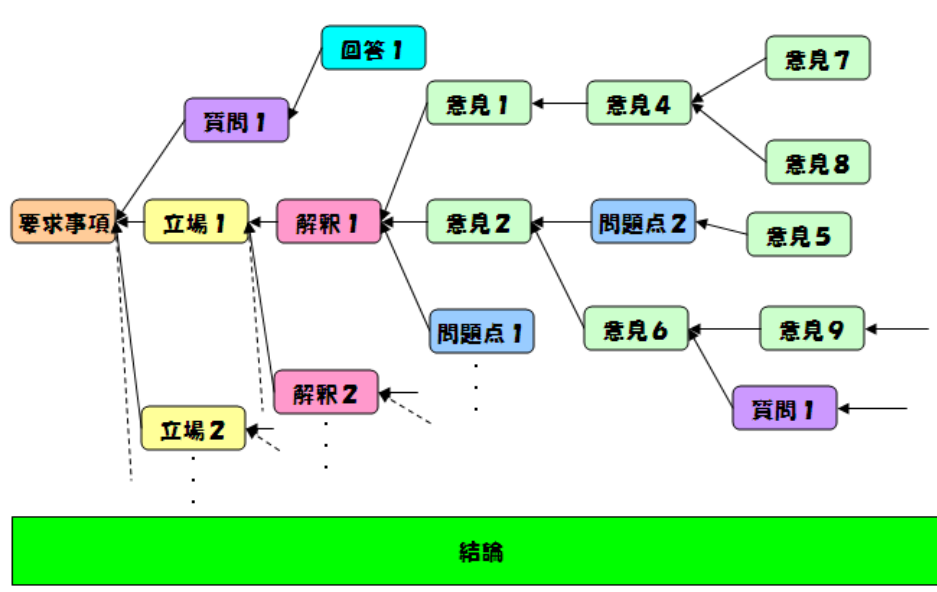
## モデルの説明

- ・要求事項・立場・解釈・問題点・意見・質問・回答・結論の各ノードを持つ
- ・ノードを結合していくことで、議論を記録する
- ・各ノードは、「ID」を保持し、「記述者」「本文」「理由or目的」を記録できる
- ・ノードの開始は、要求事項とし、それぞれのノードごとの関連を矢印で示す

## モデルの目指す効果

- ・解釈について、開発者間で議論を行うことを促進するため、要求項目に対する認識を共有化できる
- ・顧客の立場で解釈を行うことで、顧客に確認すべき点が明確になり、顧客との認識相違を減らすことができる
- ・議論の経緯が分かるため、引継ぎが容易になる

## 作成したモデル



- 要求事項** 原子要求まで分解した要求。要求1つ1つに対して、解釈を行う。必須の項目。
- 立場** どの立場で解釈を行うかを指定する。顧客の立場や開発者の立場で解釈を行う。(顧客の中でも実際にシステムを利用する立場や、管理職などもありうる) 必須の項目。
- 解釈** 要求事項ごと、立場ごとの解釈を記録する。記述者自身が考える、そうであろうことを記述する。必須の項目。
- 意見** 解釈や問題点に対する賛意を示す。すべてのメンバーが賛成となった時点で、その解釈に対する議論は完了したと見なす。賛成・反対・条件付賛成でタグを付ける。必須の項目。
- 問題点** 解釈や意見に対して、問題点の指摘を行う。
- 質問** 各ノードに対する質問を記録する。どのノードに対してでも可能。質問には、必ず回答のノードを必要とする。
- 回答** 質問に対する回答を記録する。
- 結論** 要求事項に対する一連の解釈の議論について、結論を記録する。必須の項目。